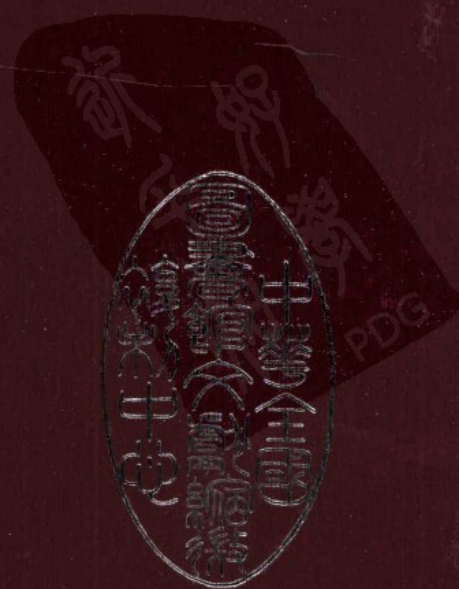


中国早期农学期刊汇编



中国文献珍本丛书

中国早期农学期刊汇编
(三十八)

全国图书馆文献缩微复制中心

农

学

農學

第 六 卷 第 一 二 期 合 刊

本 期 要 目

本院羅道莊林場木本植物調查報告

如何解決改進中國棉產時之種種問題

萊麥考

豫南及膠澳區森林植物之造林及生態的研究及其天

然植物社會之比較

農業一年之計

生物學科應用技術

國立北京大學農學院農學月刊社編行

中華郵政登記認爲第一類新聞紙類

中華民國三十年八月一日出版

Vol. 6.

AGRICULTURAL SCIENCE

No. 1—2.

Published By

The College of Agriculture, National University of Peking.

北 京
裕豐五金行

崇文門外上頭條胡同六六號

電話分局(七) 1060 號
0976

本行批發五金雜
貨鋼鉄材料及衛
生裝備各種工具
油漆等類
經售化學儀器化
學藥品化驗室內
裝置整理及應用
家具等

文化商行

化 學 藥 劑

玻 璃 儀 器

農 藝 用 品

王府大街八十二號 電話(五)二七九六

The Culture Store

本 刊 徵 稿 簡 約

- 一、本刊以闡揚農林學術，促進農村建設為宗旨。凡適合本刊宗旨之各種論著、研究、調查、譯述，報告，計劃等，不拘文體，均所歡迎。
- 二、來稿務須繕寫清楚，並加標點。本社特備稿紙，承索即寄。
- 三、來稿請用真實姓名，並附住址，以便通訊及介紹。
- 四、來稿如附插圖及繁複表格，請用黑墨水白紙繪成，以便照樣攝製銅版鋅版。
- 五、來稿若係譯稿，最好請附寄原文，否則請詳示原著者姓氏，登載書名，出版地點及日期，以便查考。
- 六、來稿本社有酌改權，不願者請預先聲明。
- 七、來稿登載與否，概不退還。但如附足退還郵資，不登載時可以照辦。
- 八、來稿一經登載，酌贈本刊以資紀念。
- 九、來稿請寄北京大學農學院農學月刊社編輯部。(附註)來稿請一律掛號寄遞以免遺失

國立北京大學農學院農學月刊社謹啓

農 學 月 刊

第 六 卷 第 一 二 期 合 刊 目 錄

中華民國三十年八月一日出版

本院羅道莊林場木本植物調查報告.....

.....貴島恒夫 王世華 吳緒崑
高士本 汪秋農 (1-9)

如何解決改進中國棉產時之種種問題(續).... 陳燕山 (10-26)

萊麥考(其二)(續)..... 九本彰造著 張水淇譯 (27-36)

豫南及膠澳區森林植物之造林及生態的研究

及其天然植物社會之比較(續)..... 白 琛 (37-48)

農業一年之計(續)..... 熙 鐘 (49-55)

生物學科應用技術(續)..... 夏元瑜 (56-78)

北 京
新 記 建 築 木 廠

本 廠 承 修	各 式 樓 房
洋 灰 鐵 筋	橋 樑 基 礎
土 木 工 程	工 堅 料 實
代 理 設 計	測 量 繪 圖
信 用 卓 著	價 目 公 道

廠 址 東 安 門 黃 城 根 甲 五 八 號
電 話 東 局 一 五 二 六 號

公 興 順 建 築 廠

— (X) —

本 廠 建 造 經 驗 三 十 餘
年 承 造 中 外 各 式 樓 房
保 險 倉 庫 橋 樑 閘 壩 洋
灰 鐵 筋 工 程 定 期 不 悞

地 址 齊 化 門 內 小 牌 坊 胡 同 甲 一 號
電 話 東 局 六 六 八

本院羅道莊林場木本植物調査報告

(民國30年7月14日現在)

貴 島 恒 夫

王 世 華, 吳 緒 崑

高 士 本, 汪 秋 農

目 次

I 緒 言

II 調査方法

III 調査結果

IV 結 語

V 引 用 文 献

I 緒 言

本院羅道莊林場は北京阜成門外西方約2.5kmの所に位置し、此處には古く人工に依つて造られた池があつて、乾隆・嘉慶の頃には公開の釣魚場として大いに繁榮してゐたと言ふ。元の國立北平大學農學院は此の池の傍にあり、池自體は現在水田並びに草田として、全じく本院農場の利用せるところである。茲に林場と稱するのは、北の池の周圍を取巻く地帯に池を掘つた土を以て築上げられた大小幾多の丘の連続地域であつて、東西に約 1.5km の此の長い池は自然、當林場を所謂、南山と北山とに分割する事となり、その面積は夫々 7.0 ha と 8.2 ha、計約 15.2 ha ある。

従つて當林場は元來人工に依る地勢・地形より成り、之に現存する樹木亦殆ど植栽されたものばかりである。但し今では之等の樹木からの自然下種に依つて自生状態を現出せる樹種もあり、又附近野生種の侵入に依る野生状態の明かなるものもあつて、之等を通じての樹種数の多き點では近郊随一たるを失はない。元北平大學農學院構内には樹木標本園があつたと聞く、之をも合する時は、その樹種僅に 100種を超過するものと思推せられるが、この舊學院構内區域には今次の調査は及んで居らない。

本調査は、著者等が計劃中の本院各林場植生調査の第 1 着手事項であり、當林場に於ける將來の施業に資し、學生實習に便ならしめんとする直接の目的の外に、華北平原就中都市近傍に於て成林を見た場合の、自然並びに人為植生状態の總和を推知せしむるに足る可き資料たり得る事をも豫想したものである。

尙本調査施行に際し、恰も御滯燕中の野原茂六博士より賜りたる幾多の有益なる御助言並びに樹種名同定、日本假名設定等に就いての御懇篤なる御指導に對し、茲に謹んで感謝の意を表する。

II 調査方法

(1) 調査日期 民國30年 6月22日, 7月11日, 7月14日の3日間

(2) 調査事項 a. 科名(學名, 中國名, 日本名)

b. 樹種名(學名, 中國名, 日本名)

c. 栽植・自生・準自生の別(茲に言ふ準自生とは皆て栽植せられたるものの自然下種或は萌芽・伏條等に依つて旺盛に増殖しつつあるもの、自生とは主として附近の野生種の侵入せるものを指す。

更に自生種乃至は準自生種のみに関し次の諸事項を調査す。

d. 生育地の特徴(林内・林縁・路傍・河岸其他、並

びに乾・濕・陰・陽地の別)

e. 生活形(優喬木・從喬木・灌木等各所風階又は纏繞・葡狀・着生等の別)

f. 頻度(優勢・逼生・羣生・點生, 並びに夥・多・少・稀・極稀の別)

(3) 採集標本 臘葉となしたる上, 本院標本室に保管す。

III 調査結果 (木本植物目録)

1. Ginkgoaceae 銀杏科 イラフ科 1属1種
 - (1) Ginkgo biloba L. 銀杏 イラフ (栽植)
2. Pinaceae 松柏科 マツ科 1属2種
 - (2) Pinus Bungeana Zucc. 白皮松 シロマツ (栽植)
 - (3) P. tabulaeformis Carr. 油松 シナマツ (栽植)
3. Cryptomeriaceae 杉木科 スギ科 1属1種
 - (4) Cryptomeria japonica D. Don 柳杉 スギ (栽植)
4. Cupressaceae 柏木科 ヒノキ科 2属2種
 - (5) Juniperus chinensis L. 檜柏 ビヤクシン (栽植)
 - (6) Thuja orientalis L. 側柏 コノヲガシハ (栽植)
5. Salicaceae 楊柳科 ヤナギ科 2属6種
 - (7) Populus alba L. 白楊 ウラジロハコヤナギ (栽植, 準自生)
河岸・陽地・濕地, 從喬木・羣生・少
 - (8) P. nigra L.
var. italica Du Roi 美國楊 セイヤウハコヤナギ (栽植)
 - (9) P. Simonii Cerr. 河楊 テリハドロ (栽植)
 - (10) Salix babylonica L. 垂柳 シグレヤナギ (栽植)
 - (11) S. Matsudana Koidz. 旱柳 (假名) マツグヤナギ (栽植)
 - (12) S. M. K.

- f. tortuosa Vilm. 龍爪柳 (假名) コレヤマナギ (栽植)
6. Juglandaceae 胡桃科 グルミ科 2属3種
- (13) Juglans regia L. 胡桃 (假名) オウシユウグルミ (栽植)
- (14) J. Sieboldiana Maxim. 日本山胡桃 オニグルミ (栽植)
- (15) Pterocarya stenoptera DC. 楓楊 カンハイジュ (栽植)
7. Betulaceae 樺木科 カバノキ科 1属1種
- (16) Corylus heterophylla Fisch. 榛 オホハシバミ (栽植)
8. Fagaceae 殼斗科 ブナ科 2属6種
- (17) Castanea mollissima Bl. 栗 シナグリ (栽植)
- (18) Quercus acutissima Carr. 櫟 クヌギ (栽植)
- (19) Q. crispula Bl. 大崗櫟 ミヅナラ (栽植)
- (20) Q. dentata Thurb. 櫟樹 カシハ (栽植)
- (21) Q. phillyraeoides A. Aray. 烏岡櫟 ウバメガシ (栽植)
- (22) Q. suber L. 栓皮櫟 コルクガシ (栽植)
9. Ulmaceae 榆科 ニレ科 2属3種
- (23) Celtis Bungeana Bl. 朴樹 コバノエゾエノキ (栽植)
- (24) Ulmus macrocarpa Hance 大果榆 オホミノニレ (栽植)
- (25) U. pumila L. 白榆 ノニレ (栽植・準自生・自生)
- 林内外・乾濕・陰陽地ヲ論ゼズ最も普遍的ニ生育ス。優從喬木・
灌木・優勢・遍生・夥
10. Moraceae 桑科 クハ科 4属5種
- (26) Broussonetia papyrifera Vent. 楮 カデノキ (栽植・準自生)
- 林内陰地・從喬木・羣生・少
- (27) Cudrania tricuspidata Bur. 拓樹 ハリグハ (栽植)
- (28) Ficus carica L. 無花果 イテジク (栽植)
- (29) Morus alba L. 桑 マグハ (栽植・準自生・自生)

林内・林縁・陽地・陰地，從喬木—灌木，羣生—點生・多

(30) *M. cathayana* Hemsl. 華桑 (假名) シナグハ (自生)

林内・林縁・陽地・陰地，點生・少

10. *Platanaceae* 篠懸木科 スズカケノキ科 1属1種

(31) *Platanus acerifolia* Wild. 篠懸木 モミヂバスズカケ (栽植)

11. *Cydoniaceae* 梨科 ナシ科 3属4種

(32) *Crataegus pinnatifida* Bge. 山楂 オホサンザシ (栽植)

(33) *Malus prunifolia* Borkh. var. *rinki* Rehd.

林檎 (假名) カホクリンゴ (栽植)

(34) *Pyrus Bctulaefolia* Bge. 棠梨 (假名) カバノハナシ (栽植)

(35) *P. montana* Nakai 沙梨 ヤマナシ (栽植)

12. *Rosaceae* 薔薇科 イバラ科 1属1種

(36) *Rosa* (aff.) *acicularis* Ldl. (栽植)

13. *Amygdalaceae* 櫻科 サクラ科 1属5種

(37) *Prunus Armeniaca* L. 杏 (假名) アルメニヤアンズ (栽植)

(38) *P. Davidiana* Franch. 山桃 ノモモ (栽植)

(39) *P. persica* Batsch. 桃 (假名) シナモモ (栽植)

(40) *P. salicina* Lindl. 李 スモモ (栽植)

(41) *P. yedoensis* Mats. 日本櫻花 サクラ (栽植)

14. *Leguminosae* 荳科 マメ科 7属9種

(42) *Albizzia julibrissin* Durazz. 合歡 (假名) インドネム (栽植)

(43) *Amorpha fruticosa* L. 紫穗槐 イタチハギ (栽植)

(44) *Cercis chinensis* Bge. 紫荊 ハナズハツ (栽植)

(45) *Gleditschia japonica* Miq. 日本皂角 サイカチ (栽植)

(46) *G. sinensis* Lam. 皂角 (假名) シナサイカチ (栽植)

(47) *Robinia pseudacacia* L. 洋槐 ニセアカシヤ

(栽植・準自生)

(48) *Sephora angustifolia* Sieb. et Zucc. 苦參 クララ (自生)

路傍・乾地・陽地, 灌木・點生・稀

(49) *S. japonica* L. 槐 エンジュ (栽植)(50) *Wistaria sinensis* Sweet. 紫藤 (假名) シナフデ (栽植)

15. Rutaceae 芸香科 ハンルウダ科 1属1種

(51) *Zanthoxylum simulans* Hance 花椒 (假名) サンショモドキ

(栽植)

16. Simarubaceae 苦木科 ニガキ科 1属1種

(52) *Ailanthus altissima* Swingle 臭椿 シンジュ

(栽植・準自生・自生)

林縁・林外・陽地, 從喬木・灌木・過生・少

17. Meliaceae 楝科 センダング科 1属1種

(53) *Cedrela sinensis* Juss. 香椿 チヤンチン (準自生)

林外・陽地, 從喬木・極稀

18. Anacardiaceae 漆樹科 ウルシ科 2属2種

(54) *Pistacia chinensis* Bge. 楷 ランシンボク? (栽植)(55) *Rhus javanica* L. 鹽膚木 ヌルデ (栽植)

19. Celastraceae 衛矛科 ニシキギ科 1属1種

(56) *Euonymus Bungeana* Bge. 白杜 ヒメマエミ (栽植)

20. Aceraceae 槭樹科 カヘデ科 1属4種

(57) *Acer mono* Maxim. 地錦槭 (假名) コバナイタヤ (栽植)(58) *A. Negundo* L. 多寶楓 トネリコバナカヘデ (栽植)(59) *A. pictum* Thunb. 五角楓 イタヤカヘデ (栽植)(60) *A. truncatum* Bge. 元寶楓 (假名) カホクイタヤ (栽植)

21 Sapindaceae 無患子科 ハクロジ科 2属2種

- (61) *Koelreuteria paniculata* Laxm. 欒樹 モクゲンジ (栽植)
- (62) *Xanthoceras sorbifolia* Bge. 文冠果 ブンクソソクソ
(栽植)
22. Rhamnaceae 鼠李科 クロウメモドキ科 2属2種
- (63) *Rhamnus parvifolia* Bge. 大綠 イハクロウメモドキ (自生)
林内・林縁・陽地・陰地・灌木・羣生・多
- (64) *Zizyphus spinosus* Hu. 酸漿 (假名) トゲナツメ (自生)
林内外・陽地・陰地・灌木・優勢・羣生・夥
23. Vitaceae 葡萄科 ブドウ科 2属2種
- (65) *Ampelopsis aconitifolia* Bge. 草葡萄 オフクカヅラ (自生)
林内・路傍・陽地・陰地・纏繞植物・點生・少
- (66) *Vitis vinifera* L. 葡萄 ブドウ (栽植)
24. Tiliaceae 田麻科 シナノキ科 1属1種
- (67) *Grewia biloba* G. Don (假名) 北京扁担格子
シナエノキウツギ (自生)
林内・林縁・陰地・陽地・灌木・遍生・少
25. Malvaceae 錦葵科 アフヒ科 1属1種
- (68) *Hibiscus syriacus* L. 木槿 ムクゲ (栽植)
26. Tamaricaceae 檉柳科 ギョリウ科 1属1種
- (69) *Tamarix pentandra* Pall. 五蕊檉柳 ヒナギョリウ (栽植)
27. Punicaceae 安石榴科 ザクロ科 1属1種
- (70) *Punica Granatum* L. 石榴 ザクロ (栽植)
28. Ebenaceae 柿樹科 カキ科 1属1種
- (71) *Diospyros Lotus* L. 君遷子 (假名) コガキ (栽植・準自生)
林内・陰地・從喬木—灌木・羣生・少
29. Oleaceae 木犀科 ヒシツギ科 1属5種

- (72) *Fraxinus Bungeana* DC. 小葉白蠟樹 プンゲトネリコ (栽植)
- (73) *F. chinensis* Roxb. 白蠟樹 (假名) シナトネリコ (栽植)
- (74) *F. c.* R.
var. *rhynchophylla* Hemsl. 大葉櫻 (假名) オホバトネリコ (栽植)
- (75) *F. hopciensis* Tang. 河北櫻 (假名) カホクトネリコ (栽植)
- (76) *F. mandshurica* Rupr. 水曲柳 オクエゾヤチダモ (栽植)
30. *Asclepiadaceae* 蘿藦科 タウソクダ科 1属1種
- (77) *Periploca sepium* Bge. 楨柳? (栽植)
31. *Verbenaceae* 馬鞭草科 クマツヅラ科 1属1種
- (78) *Vitex negundo* L.
var. *incisa* Clarke 荆條 クイソシニンジンボク (自生)
林内・蔭地, 灌木・點生・稀
32. *Solanaceae* 茄科 ナス科 1属1種
- (79) *Lycium chinense* Mill. 枸杞 クコ (自生)
林内・蔭地, 灌木・點生・稀
33. *Bignoniaceae* 紫葳科 ノウゼンカヅラ科 1属2種
- (80) *Catalpa ovata* G. Don 梓 キササゲ (栽植)
- (81) *C. speciosa* Warder 黄金樹 ハナキササゲ (栽植)

IV 結 論

綜合上記調査結果列下

- (1) 當地所産木本植物合計33科54属81種(變種品種亦作各1種計算之)
- (2) 其中
- a. 自生種: 僅爲(25)白榆, (29)桑, (30)華桑, (48)苦參, (52)臭椿, (63)大綠, (64)酸棗, (65)白藜, (67)北京扁担格子,

(72) 荆條, (78) 枸杞等 11 種占全量 13.6%

b. 本文所謂準自生種者乃為不見其野生者: (7) 白楊, (26) 楮,

(41) 洋槐, (53) 香椿, (71) 君遷子 5 種 6.3%

c. 所餘樹種即為純栽植種 64 種 80.1%

(3) 試觀其自生及準自生種於當地確可認為土著能繁殖之樹種, 若考察其分佈的關係如下,

a. 大體在華北地方分佈於中心地域的樹種為 (25) 白榆, (47) 洋槐 (63) 大綠。

b. 倒是北方種之 (7) 白楊

c. 其他倒為南方種。

且與日本 (除朝鮮外) 共通樹種為 (26) 楮, (29) 桑, (50) 香椿, (78) 枸杞 4 種是也。

五 引用文獻

(1) 滿鐵中等教育研究所博物分科會: 滿洲植物目錄, 1930, 大連

(2) 周漢藩: 河北習見樹木圖說, 1934, 北京

(3) 牧野富太郎, 清水澤太郎: 植物學名辭典, 1935, 東京

(4) 根本英樹: 日本植物總覽補遺 (4 版), 1935, 東京

(5) Lee, S. Ch.: Forest Botany of China (2 版), 1955, 上海

(6) 京都帝國大學會: 木本植物分類表 (京大植物學會出版・特刊), 1936, 京都

(7) 陳鑒: 中國樹木分類學, 1937, 南京

(8) 滿鐵產業部 (佐藤潤平): 滿洲樹木名彙, 1937, 大連

(9) 本間正次: 日本植物名彙, 1939, 東京

(10) 牧野富太郎: 牧野日本植物圖鑑, 1941, 東京

(11) 高士本: 本院羅道莊林場調查 (北京大學農學院林學畢業論文・第 4 卷), 1941,

(12) 貴島恒夫: 中國樹木名彙 (宋宅稿), 2941 (未完),

(1941, 7, 25.)

如何解決改進中國棉產時之種種問題

(續)

陳 燕 山

(六) 植棉經濟問題 (中續)

改進中國棉產，絕非一簡單事件，必須根據種種關聯之事態，考慮適切之措施，然後可以推行無阻，順利成功。本篇(上)(中)二節，既已就中國農制及農村經濟等之現況，約略推究其所予棉產改進事業之影響；茲當續就中國棉花貿易上之種種現實情況，再作簡單之研討。

農制與農村經濟等為支配農業生產之重要因素，足以左右農民對於植棉之趨勢，因為改進中國棉產時所應注意審察之事項；而棉花貿易之情況，其影響於棉產改進事業之進展，蓋尤重大。何則？請先闡述數語：

改進棉產，在以種種技術方法，減低棉花之生產成本，並提高棉花之品質與產量，而增厚農民植棉之利益；蓋惟如此而農民始能對棉產改進發生興趣；亦惟如此而棉產改進始能遂行無阻，底於成功。今若為鼓勵植棉而予農民植棉以種種之便利，而棉花貿易上則反予農民運售棉花以種種之不便，結果已足使農民對於植棉徘徊瞻顧，趑趄不前，減銷鼓勵植棉之效力；至若改進棉產方面竭力設法提高棉花之品質與產量，減低棉花生產之成本，而棉花貿易上則不予優良棉花以有利之地位，或竟使棉價低於棉花之生產成本，則農民勢必對棉產改進發生懷疑，甚至根本厭惡植棉，棉產改進，安能期其成功！據是以觀，可見棉花貿易情況影響棉產改進事業之重大，而值得吾人特予注意焉。